

保育園児とサツマイモの苗を植える

5月22日(金)、徳間のコミわか農園(約200m²)で恒例の皐月保育園児とサツマイモ苗の植え付け体験の交流を行いました(写真)。

グリーン俱楽部からは自分のことを“ジジ”と呼ぶ自称青年会員7名と、JA吉田支所からは中条支所長と本物の若者4名の参加を頂き、園児33名に東錦(さつまいも)300本を植えてもらいました。



指導する“自称青年会員”と園児

会員があらかじめ作った畝に一列に並んで3本づつ植え付けし、各自持参したペットボトルで水をやり、畝を移るという作業でした。園児達はペットボトルが空になると、水を溜めた大桶に駆け寄り水を入れ(写真)、畝に戻り一生懸命に水をやつしていました。秋には収穫のお手伝いに、また園児が農園に来ます。収穫に喜ぶであろう園児を想像しながら、草とりなどをしっかりやろうと誓いました。

(コミわかグリーン俱楽部)



水桶にペットボトルを持ち集まる園児

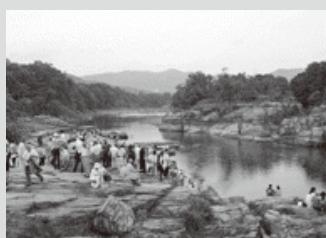
「世界遺産！富岡製糸場」などを見学

今年の「若槻地区ふれあいの旅」は6月13日(土)、14日(日)の2日間、群馬県富岡市～埼玉県秩父市方面を訪れ86名が参加しました。

初日は、明治5年(1872年)に創業した富岡製糸場(2014年6月に世界文化遺産に登録)でした。さすがに世界最大と言われたその規模の大きさ圧倒されてきました。その後「こんにゃくパーク」、「水沢観音」などを見学し、予定どおり宿泊先の水上温泉「ホテル聚楽」に到着。利根川の渓流の音を聞きつつふれあいを深め、豊かな温泉を楽しみました。

翌日は、夜に降りだした雨が朝にはピタリと止んで、川越の伝統的な建造物群に保存された町並みや「時の鐘」「菓子屋横町」などを散策後、「景勝地の岩畠 長瀬」、「秩父神社」、「秩父まつり会館」を見学しました。なかには、12月の秩父まつりにはぜひ来たいなどの声も聞かれました。今後、「旅行の反省会」を行い、来年度の計画に反映させていきます。有難うございました。

(公民館部会)



岩畠の長瀬



富岡製糸場内部見学

無線機の配備と情報伝達訓練について

前号でご報告しましたが、15台の無線機が入り、若槻災害対策本部(コミわか)、並びに各区区長(兼区自主防災会会长)にお渡しました。災害時に円滑な連絡が取れるよう、7月26日(日)に関係者で情報伝達訓練を行う予定です。

ホタルウィークでも使いましたが、各部会などで利用したい場合は、コミわか事務局に相談して下さい。

(自主防災会連絡協議会・コミわか事務局)



若槻支所職員の紹介



伊東 俊江

6月の人事異動により若槻支所に参りました。一步一步新しい職場に慣れ若槻地区の皆様のお役に立てるようになりたいと思っております。よろしくお願ひいたします。